

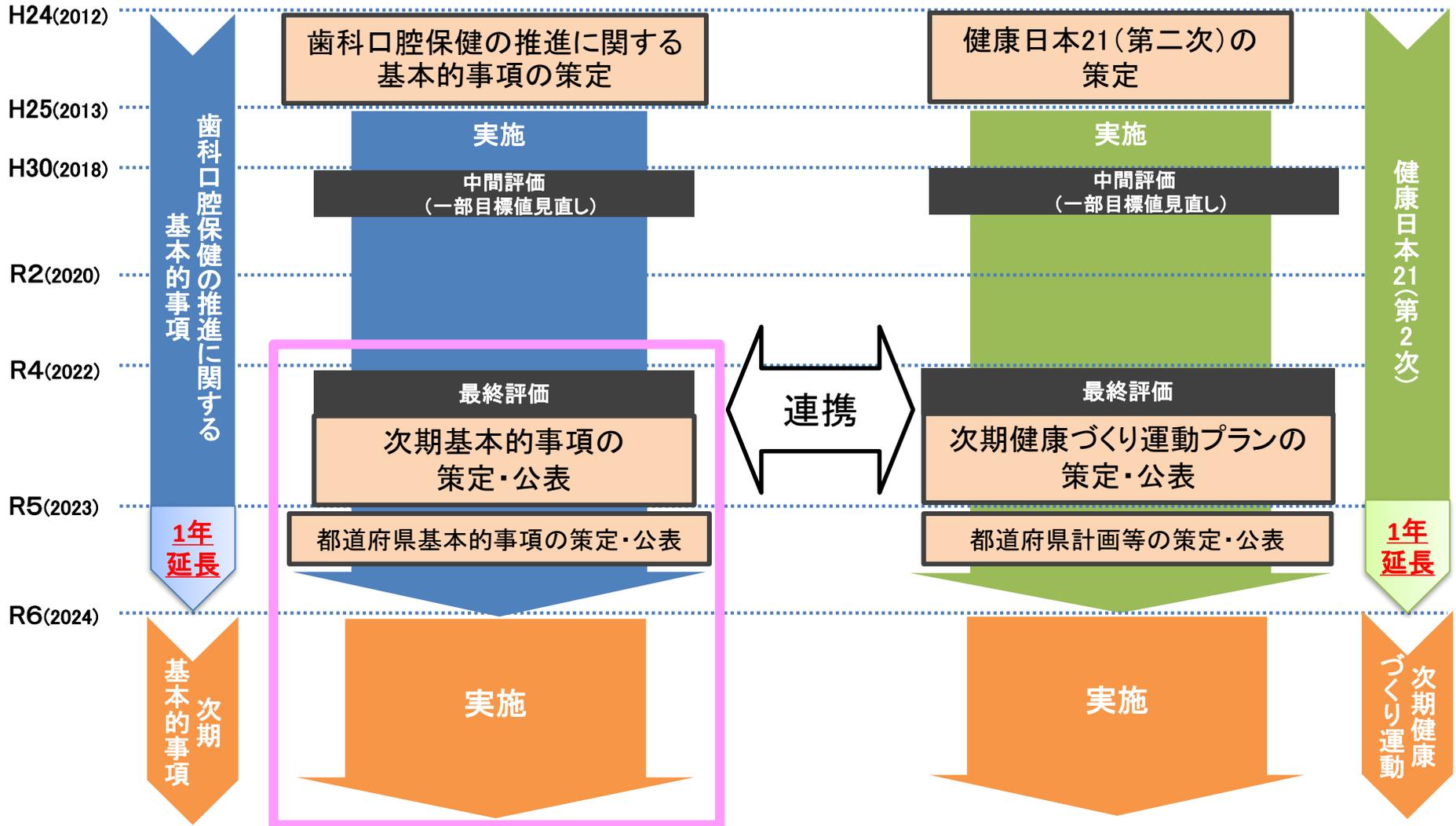
令和3年8月27日

資料1

第2回 歯科口腔保健の推進に係る
歯周病対策ワーキンググループ

「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」 の最終評価のスケジュール(案)等について

「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」のスケジュールについて(案)



＜「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の最終評価に使用予定の統計調査について＞

新型コロナウイルスの感染拡大により、

➤令和2年度国民健康・栄養調査 → 中止

（令和3年度国民健康・栄養調査 → 身体状況調査を中止）

➤令和3年度歯科疾患実態調査 → 中止



＜最終評価の方法＞

○ 調査・データ分析に係る課題

・ベースラインから指標や目標値が変更になっている目標項目や、直近の指標のデータが把握できない項目等に関しては、代替となる指標や調査結果等を用いて分析を行う。

・各目標項目の評価に当たっては、関連する調査・研究等の動向も補助的に活用する。

（第13回健康日本21（第二次）推進専門委員会令和3年6月30日より）

⇒委託事業において、代替指標や評価に当たって参考とするデータの収集・分析を行う。

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項

地域保健・健康推進事業報告より			
	策定時	中間評価時	目標
3歳児でう蝕のない者の割合の増加	平成21年 77.1%	平成27年 83.0%	令和4年 90%
3歳児でう蝕のない者の割合が80%以上である都道府県の増加	平成21年 6都道府県	平成27年 26都道府県	令和4年 47都道府県
3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少	平成21年 12.3%	平成27年 12.3%	令和4年 10%
学校保健統計調査より			
	策定時	中間評価時	目標
12歳児でう蝕のない者の割合の増加	平成23年 54.6%	平成28年 64.5%	令和4年 65%
12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県の増加	平成23年 7都道府県	平成28年 28都道府県	令和4年 47都道府県
国民健康・栄養調査より			
	策定時	中間評価時	目標
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	平成21年 31.7%	平成26年 27.1%	令和4年 25%
60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	平成21年 73.4%	平成27年 72.6%	令和4年 80%
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	平成21年 34.1%	平成28年 52.9%	令和4年 65%
厚生労働科学特別研究より			
	策定時	中間評価時	目標
障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	平成23年 66.9%	平成28年 62.9%	令和4年 90%
介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加	平成23年 19.2%	平成28年 19.0%	令和4年 50%
歯科保健課調べ			
	策定時	中間評価時	目標
歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加	平成24年 26都道府県	平成29年 43都道府県	令和4年 47都道府県

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項

歯科疾患実態調査より		策定時	中間評価時	目標
	中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	平成17年 25.1%	平成28年 19.8%	令和4年 20%
	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	平成17年 37.3%	平成28年 44.7%	令和4年 25%
	40歳の未処置歯を有する者の割合の減少	平成17年 40.3%	平成28年 35.1%	令和4年 10%
	40歳で喪失歯のない者の割合の増加	平成17年 54.1%	平成28年 73.4%	令和4年 75%
	60歳の未処置歯を有する者の割合の減少	平成17年 37.6%	平成28年 34.4%	令和4年 10%
	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	平成17年 54.7%	平成28年 62.0%	令和4年 45%
	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	平成17年 60.2%	平成28年 74.4%	令和4年 80%
	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	平成17年 25.0%	平成28年 51.2%	令和4年 60%